

育て！
ミライビト

学びの今を訪ねて

建築・土木系の科目が学べる学校を訪ね、特色ある取り組みを紹介します。

01 県立兵庫工業高校 建築科



自主的に取り組む 課外活動を通して 将来につながる 成果を目指す

約120年の歴史を持つ県立兵庫工業高校では、創立当初からある建築科をはじめ、都市環境工学科、機械工学科、など8つの学科を設置。学科ごとに、課外における生徒の自主的な学びをサポートする「チャレンジ同好会」を設けています。建築科では、以前から資格試験やコンテストに挑みたいと考える生徒に対して放課後に教員が個別指導を行っていましたが、その活動を定着・継続していくため昨年、「建築チャレンジ同好会」を改めてスタートしました。

同好会には1～3年生の約30人が参加。「設計競技」「木材加工」の2つの分野に分かれ、各自が設定した課題に取り組んでいます。設計競技では、企業や大学が主催する作品のコンテストに応募する建築作品を作ります。1年生女子5人のグループは、秋田県立大学主催のコンテストで提示された課題「むすぶ建築」に挑戦。教員のアドバイスも受けながら、課題に対する自分たちなりの解釈を議論し、作品の方針を固めているところです。

木材加工では、時間内に木工作品を組み立てて完成度を競う「高校生ものづくりコンテスト」や、技能検定などに向けて技術を磨いています。活動には機械工学科や総合理化学科などの他学科の有志も参加し、のみやのこぎり、差し金を使って木材を正確に加工します。新型コロナウイルス感染症の影響で今年のコンテストは中止となりましたが、「安全に作業ができていくか」「工具の使い方は適切か」など、おのおのの目標を持って自主練習に取り組んでいます。

いずれの分野でも、生徒たちは活動を通して資格を得たり、コンテストで成果を出したりすることで、就職や進学につながる技術や知識の習得を目指して励んでいます。



学校概要



2年生の秋から同好会の設計競技に参加し、先輩と一緒に秋田県立大学のコンテストの作品作りに携わりました。提出する模型は真っ白なステンボードだけでは味気ないと思い、中に置く家具の形や色にこだわり、結果は2位の優秀賞でした。その時の経験を生かして、今年は日本工業大学のコンテストに挑戦しています。課題に対する自分の考えが伝わる作品となるよう構想を練っています。



建築科3年生
設計競技
北岡弘光さん

木材加工では、以前は男子生徒との力の差を感じることもありましたが、先生の助言を受けて力の入れ方や工具の使い方などを見直し、最近では同じくらいのスピードで作れるようになってきました。同好会での活動を通して、授業で学ぶ建築物の仕組みなども実感を持って理解できるようになりました。今は3年間の集大成である「卒展」の作品の制作に取り組んでいます。



建築科3年生
木材加工
藤井 渚さん

同好会の活動を通して、昨年は建築を学ぶ高校生にとっての四大大会の一つともいわれる日本建築協会主催のコンクールで最優秀賞を取り、志望する進路に結び付けた生徒もいます。同好会では自分たちで考えて行動することで、授業での学びに加えて、自らの将来を切り開く技術や知識を身に付けてほしいと思います。また、こうしたさまざまな体験を通じて建築の難しさや奥深さを感じてもらえる環境をつくり、多くの学びの機会を用意しておくことが学校の役割だと考えています。



建築科
学科長
西本和樹教諭

- 所在地／神戸市兵庫区和田宮通2-1-63
- 創立／明治35年
- 課程／全日制
- 校長／三輪智英
- 設置学科／建築科、機械工学科、電気工学科、総合理化学科、都市環境工学科、デザイン科、電子工学科(令和2年度入学者選抜から募集停止)、情報技術科
- 生徒数／914人